

ポラスグループ中央ビル管理 外出自粛の中で 「IT重説」積極活用



「IT重説」の様子

賃貸不動産の管理・入居募集など行っているポラスグループの中央ビル管理は現在、新型コロナウイルス対策として「IT重説」を積極的に活用

している。

「IT重説」とは、アパートなどを借りる前に行う「重要事項説明」を、スマホやパソコンなどITを活用して説明を行うことである。

会社では、外出自粛など新型コロナウイルス感染症防止が求められていることから、東京都、埼玉県、千葉県にある24の営業所すべてにおいて、「賃貸取引」にかかわる「IT重説」を積極的に活用している。

「IT重説」は、2017年10月から許可されていたが、これまで対面

で行われていた慣例が強く、あまり浸透していなかった。

そうした状況で発生した新型コロナウイルスにより、外出自粛が求められている中、会社では「IT重説」を積極的に活用している。

具体的には、各営業所の「IT重説」を本社に集約し、本社スタッフ（宅地建物取引士）により実施することで営業所の業務効率の向上を目指している。

「IT重説」の実施件数は、賃貸募集繁忙期の2月期は16件、3月度は27件、4月度は15件の実績となっている。

さらに、会社では4月から、入居している住戸の修理受付から退去申請などまでスマートフォンで完了できる「Room Scan」アプリを導入、5月11日現在で1750人の入居者が活用するなど好評となっている。